

和ん話んタイムズ

No. 14

2012.2.15

NPO 法人

ここ掘れ和ん話ん探検隊

山形県からの受託事業

「歴史街道・十三峠観光資源活用事業」が 大きな成果をあげて終了しました

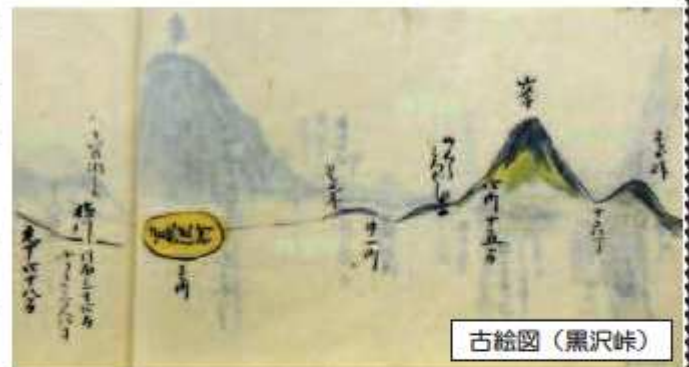
昨年の6月からスタートした標記の事業は12月末に予定通り多くの成果を作って終わりました。

県の「雇用創出事業」として「和ん話ん」が受託したもので、新たに2名の新規雇用を行い、「和ん話ん」の会員3名がスタッフとして事業の遂行にあたってきました。

事業としては ①十三峠と周辺の地域資源を調査してデータベース化する ②峠のイベントの企画立案創造する ③ガイド養成講座の企画立案 ④里程標・史跡説明板の設置 ⑤パンフレット箱の設置などでした。

① については、発行されている多くの資料やパンフレットなどを熟読することからスタートし、資源のリストを作りました。次に、関係町村に足を運び、役場・図書館・教育委員会・観光協会からの聞き取りを重ねました。上杉博物館にも出向きました。合わせて、資源や十三峠の写真撮影も行いました。収集した情報について1件を1シートにまとめました。シートには町村名・資源のジャンル・写真と説明、所在地を載せましたし、今回は峠の断面図を載せることで、峠の高低差が分かるようになりました。シート数は400枚を超えました。また、このシートをデータベース化してDVDに収録し、成果品となりました。これまでも各町村ごとにはパンフレットや案内書もありましたが、「十三峠とその周辺」のものをまとめることができたのは成果でした。

また、十三峠全体を通したシートでは、貴重な「古絵図」などを載せることで、かつての峠の様子を知ることができます。



古絵図（黒沢峠）

② については、全部の峠について参画することはできませんでしたが、黒沢峠まつり・萱野峠の敷石掘り・宇津峠歩こう会などに参画して実態の把握や助言を行いました。

③ 1回目は、9月13日、手ノ子で井上俊雄さんを講師に「越後米沢街道・とっておきの歴史」と題した講演。2回目は12月16日、小国町で舟山功さんから「私のガイド心得」という講演、そして今回の事業の報告（途中経過もありましたが）を行いました。

④ 里程標を設置するために、すべての峠を50mのメジャー（ロープ）を使って実測しました。その距離を10等分した箇所に【3/10】という標木を建てまし



峠の距離を実測しました



里程標

た。峠の始点・終点の場所をどこにするのかなどの議論もありました。説明板は予算の都合もあり、今回は宇津峠・萱野峠・黒沢峠だけになりました。

- ⑤ パンフレット箱は、常時パンフレットを配備しておき自由に持っていただけるようにするとともに、「できればいくらかの整備資金を募るため」の思いがあります。宇津峠の落合と萱野峠の玉川側に設置しましたが、冬季間は保管しています。

⑥ 資料の収集や写真撮影が一段落してからは、5人のメンバーが連日、それぞれのパソコンとにらめっこの日が続きました。

今回の事業を通して

- ① 委託事業の初めての受託ということで、不安もありましたが、いろいろな経験をする中で、勉強になりました。
- ② 2人を雇用して事業をすすめてきましたが、それぞれの能力を発揮してもらい、スムーズな事業の遂行ができましたし、今後「和ん話ん」への強力なサポーターとなってもらえることが期待できます。
- ③ 一方で、反省点もありました。税金・保険・経理など不慣れや無知もあり、戸惑い・右往左往する場面もありました。
- ④ この期間中、「和ん話ん」としての本来事業ができず、会員からの「和ん話ん」への求心性が薄れていたのではないかと反省しております。
- ⑤ 来年度は、別の所からの委託事業の打診があります。詳細はこれから双方で協議しますが、受託することとした場合は、今回の経験を生かして、事業の遂行にあたることとします。



案内板



パンフレット箱